

復興道路 三陸沿岸道路「吉浜道路」開通！

～橋梁とトンネルで交通の難所を解消、地域の活性化に寄与～

道路建設課

平成 27 年 11 月 29 日（日）、大船渡市三陸町の吉浜インターチェンジの会場にて、三陸沿岸道路「吉浜道路」の開通式を国、県、大船渡市の共催で開催しました。

式典前には、県立大船渡高校吹奏楽部の皆さんによる演奏や、地元の郷土芸能を代表して、浦浜泊地区の権現舞、吉浜千歳地区の明神太鼓が披露され、会場の雰囲気盛り上げていただきました。

式典では、国土交通大臣、知事、大船渡市長による挨拶、黄川田衆議院議員から祝辞、県立大船渡病院院長から喜びの声の発表、南三陸国道事務所長より事業経過報告が行われました。

その後、開通アーチ前にて、テープカットとくす玉開き、親子三代渡り初め、開通パレードが行われました。



県立大船渡高校吹奏楽部 演奏



浦浜泊地区 権現舞



吉浜千歳地区 明神太鼓



石井国土交通大臣 挨拶



黄川田衆議院議員 挨拶



佐藤南三陸国道事務所長 事業経過報告



石井国土交通大臣、達増知事、戸田大船渡市長をはじめ、伊藤大船渡病院院長、徳山国土交通事務次官、黄川田衆議院議員、地元小学校の生徒さんほか御来賓の皆様による「テープカット」と「くす玉開き」の様子



人力車による親子三代渡り初め



開通パレード



会場の様子

吉浜道路は、国道 45 号の交通の難所である羅生（らせい）峠の急カーブ・急勾配の解消等を目的に、平成 19 年度に国土交通省により事業化され、震災後は復興道路に位置付けられた三陸沿岸道路の区間として鋭意整備が進められ、今回、開通となりました。

今回の開通により、峠越えの事故多発区間が回避され、安全な交通が確保されるほか、大船渡三陸道路や高田道路と一体の路線として機能し、県立大船渡病院へのアクセスの向上、輸送時間短縮による海産物の鮮度保持・品質向上、観光振興、災害に強い道路の確保など様々なストック効果が期待されます。

また、平成 28 年の「希望郷いわて国体・いわて大会」や、平成 31 年の「ラグビーワールドカップ釜石開催」においても、円滑なアクセスに大きく寄与することが期待されます。



吉浜道路（開通後）

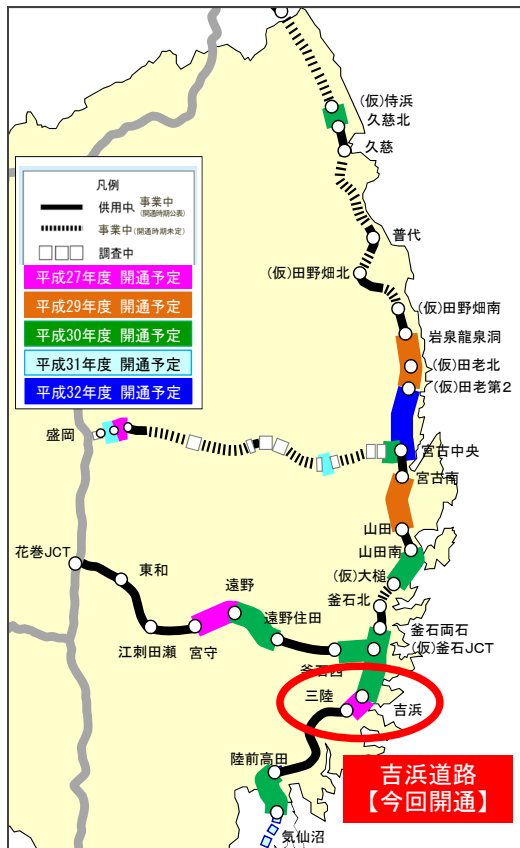


吉浜トンネル



吉浜高架橋

【位置図】



【事業概要】

路線	三陸沿岸道路
区分	吉浜道路
区間	吉浜道路
延長	3.6km
車線	2車線(自動車専用道路)
幅員	7.0(12.0)m
設計速度	80km/h
事業期間	H19~H27
事業費	約140億円
事業者	国土交通省